目的に合った生ごみ処理容器を利用しましょう

生ごみ処理容器等は大きく分けて生ごみ堆肥化容器（コンポスト容器）と電動式生ごみ処理機の二つに分かれます。電動式生ごみ処理機は更に、バイオ式と乾燥式に分かれます。
それぞれの特徴を紹介します。
（使用方法などは、各メーカーのホームページや商品の取扱説明書等を参照してください。）

★生ごみ処理容器等の種類と特徴

	生ごみ堆肥化容器 （コンポスト容器）	電動式生ごみ処理機 （バイオ式）	電動式生ごみ処理機 （乾燥式）
特　徴	庭や畑など、地面に設置して生ごみの堆肥化を行う容器。微生物の力を利用して生ごみ（有機物）を分解し、生ごみの減量化、堆肥化を行う。	基本的な仕組みはコンポスト容器と同じで、電力を利用して生ごみ（有機物）を分解する微生物の住みやすい環境を作り出すことで、生ごみの減量化・堆肥化を行う。	ヒーターや温風などを利用して、生ごみの水分を蒸発させて乾燥、破砕等を行うことで生ごみの減量化を行う。 微生物の力を利用しない点で、他の二つとは根本的に仕組みが異なる。
メリット	・良質な堆肥ができる。 ・電動式に比べて容器の価格が安い。	・良質な堆肥ができる。 ・乾燥式に比べて、標準処理量が多い。	・処理時間が早い。 ・他の二つに比べて、臭いが発生しにくい。
デメリット	・設置をするのに、庭や畑が必要。 ・管理を怠ると、虫が発生する可能性がある。 ・多少の臭いが発生することがある。	・電気代がかかる。 ・乾燥式に比べると、処理時間がかかる。 ・多少の臭いが発生することがある。	・バイオ式に比べて電気代が高い。 ・高温で処理するので、微生物が死んでしまうため、堆肥としての質は他の二つに劣る。
価格帯 （平成24年度補助実績による）	１，７８０円 ～８，５００円 （１台あたり）	４６，８００円 ～８８，０００円 （１機あたり）	

家庭用生ごみ処理容器等の補助制度をお知らせします

★補助金額

◎生ごみ堆肥化容器（コンポスト容器）
購入費の２分の１（100円未満切捨て）
限度額4,000円／台
１世帯２台まで

◎電動式生ごみ処理機
購入費の２分の１（100円未満切捨て）
限度額30,000円／台
１世帯１台まで

★補助の対象者と条件

・市内に住民登録がある方
・市税の滞納がない方
・伊東市内の販売店で現金購入する方
・購入前の事前申請
など

詳細は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】伊東市環境課 美化推進係（32）-1371